

2020年10月26日

利用団体 各位

早稲田大学学生生活課

早稲田小劇場どらま館劇場利用ガイドライン

この度、早稲田小劇場どらま館では、昨今の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う社会情勢を受け、当劇場の利用者および従業員、ご来場いただくお客様の安全・安心を第一に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、以下のとおりガイドラインを策定いたしました。

本ガイドラインは当劇場をご利用いただく皆さまにお守りいただきたい内容となっておりますので、ご利用・ご来場前に必ずご確認くださいませよう、お願い申し上げます。

また、今後の社会情勢や行政の対応方針の変更、施設管理・運営の状況に応じて、本ガイドラインの内容を適宜変更する場合がございます。

【前提事項】

- 本ガイドラインの遵守事項に従って公演を計画・実施する。
- 公演関係者全員が公演の実施・参加に同意していることを事前に必ず確認する。
- 公演関係者に早大生を含む場合には、最新の大学の課外活動の方針を併せて確認する。
- 今後の社会情勢や行政の対応方針の変更、施設管理・運営の状況に応じて、再度、当劇場を休館（公演の延期や中止を含む）せざるを得ない可能性があることを十分に理解する。
- 下記に該当する場合は来館を控える。また、該当することが確認された場合は、利用や入場を断る場合がある。

- ・ 37.5 度以上の発熱がある、または発熱が続いている。
- ・ 咳やくしゃみ、喉の痛み、身体のだるさ、風邪の恐れ等がある。
- ・ 自身の健康状態に不安がある。
- ・ 過去2週間以内に、新型コロナウイルス感染症「陽性」と判断された方との濃厚接触がある。
- ・ 過去2週間以内に、政府から入国制限・入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴 及び当該在住者との濃厚接触がある。

- 下記の感染防止対策に協力する。
 - ・ 必ずマスクを着用する。
 - ・ 「咳エチケット」を徹底する。
 - ・ 消毒液を利用しての手指消毒や手洗いを徹底する。
 - ・ 周囲の人との距離を最低 1m、可能な限り 2m 以上保つ。
 - ・ 大きな声での会話は避ける。

【遵守事項】

<感染リスクの確認と報告>

- 過去 2 週間以内に、感染が引き続き拡大している国や地域へ訪問していないかを確認する。公演稽古期間中についても感染リスクの高いエリアには訪問を控える。
- 稽古場・劇場に出入りする出演者及びスタッフ全員（仕込み・バラシ・受付等で一時的に参加する者も含む）が、感染が確認された場所・感染された方及びその濃厚接触者と接触していないことを確認し、事前の打ち合わせやメール連絡にて劇場に報告する。
- 万が一、感染や感染の疑いがある事象が発生した場合はすみやかに当劇場に相談し、公演の実施・延期・中止について協議する。

<小屋入り期間中の注意点>

- 出演者・スタッフ全員の緊急連絡先（氏名（本名）・メールアドレス・携帯電話番号など）をリストにまとめ、当劇場に提出する（提出されたリストは、当劇場で責任を持って保管し公演終了1ヶ月後に破棄するものとする）。
- 入館する際には、必ず検温を行い「検温チェックシート」に記録して健康状態を確認する。
- 劇場利用者は、事前に劇場で劇場管理による劇場利用オリエンテーションを受講する。
- 全員マスクを着用し、「咳エチケット」を徹底する。
- 周囲の人との距離を保ち、大きな声での会話は避ける（必要に応じて、携帯やトランシーバーを使うなどの工夫をする）。
- バックヤードに消毒液を設置するなど、関係者の手指消毒や手洗いを徹底する。
- 楽屋等のバックヤードでも「密集」にならないよう、十分な間隔をあけて利用する（楽屋配置シミュレーションを参照）。
- 館内設備の消毒は、舞台関係者以外の人が入り出る本番期間中に、劇場管理人の指導のもと利用団体で行う。
消毒箇所は、「ドアノブ、階段やホワイエの手すり、電気スイッチ、受付デスク、楽屋内の家具、ホワイトボード周り、舞台上の手の触れる箇所、客席の椅子、ブースの音響照明機材」などを指す。
仕込み期間中は、小まめに手洗い・消毒をして感染防止に努める。
- 利用期間中のトイレの使用は、トイレ内の掲示に従って利用する。
- 利用期間中の劇場内の換気は、劇場管理人の指導のもと、劇場管理人と利用団体で協力して定期的に行う。換気は、2階表扉・2階搬入口・3階ブースの計3ヶ所を全開放して行う。この時間は、音の出る作業は禁止する（劇場内の換気扇は、上演中も含め、常時つけておく）。
- エレベーターの使用を禁止する（搬入出、お体の不自由な来場者のみ許可）。
- 楽屋での炊き出し及びケータリング形式での提供を禁止する。食事は弁当など「個別に提供されるもの」とする。コップや皿は使い捨ての容器を利用するか、私物のタンブラーなどを用意する。また「密集」状態での食事、飲食中の会話等は控える。
- 感染疑いのある者が発生した場合には、すみやかに劇場管理人に報告する。

<舞台客席、仕込み、バラシ時の注意点>

- 舞台上、客席、3階ブースの最大利用人数を以下の通り定める。
舞台上の人数は、舞台の広さによって3名から6名を最大利用人数とする。（算出式：舞台の面積×0.7÷4平米）
客席の人数は、客席と舞台最前面の距離を2m確保し、客席は千鳥（一席あけて）で配置した16名～22名を最大利用人数とする。
3階ブースの人数は、スタッフが前方を向き静かに作業することから、客席と同様に、一席あけた距離を取り、滞在できる人数5名を最大利用人数とする。前提として、極力少人数で作業するよう努める。（どらま館HP「【参考】舞台面1.5間/2間 客席想定」を参照）
- 劇場仕込み・バラシは、作業時間の分散に努め、十分に時間を取って行う。（各セクション5名ほどを目安とする）
- 仕込み・バラシ時のエレベーター使用は、原則資材の搬入出のみとする。

<公演、制作に関わる注意点>

- 来場者に対し、事前に来場の注意点をアナウンスする（「ご来場の皆さまへ」参照）。
- 当日の受付は、来場者の十分な間隔をあけた整列のため、劇場の2階ホワイエに設置するものとする。
- 原則として、受付開始時間を公演開始時間の20分以上前とし、入場時に整列等が必要な場合は、出来る限り2mの間隔を開けて並ぶように呼びかける。

- 当劇場で公演を行う場合は、原則として「事前精算」で「指定席券」を販売するものとする。
- 当日受付時の公演チケットの受渡しについては、その都度消毒を徹底するなどの感染防止対策を行うことを前提に認めるものとする。
- 当日精算・当日券の販売は極力実施しないこととし、万が一実施する場合は利用者と劇場管理スタッフの間で事前打ち合わせを必ず行うものとする。
- 利用団体の責任のもと、来場者全員の緊急連絡先（氏名（本名）・メールアドレス・携帯電話番号）を収集し、公演終了後 1 ヶ月保管すること（公演前に劇場管理人がリストの不備がないか確認する）。
- 入場前に必ず検温（非接触型、再検温は接触型を用いる）を行い、37.5 度以上の来場者には入場を辞退いただく（体調不良による来場辞退や当日の検温での辞退などのお客様への払い戻し等の対応は利用団体が行う）。
- チラシ束・当日パンフレット・アンケートの配布（席置きを含む）を控える。
- 途中休憩中に来場者が外に出て歩道を埋めたり喫煙したりすることのないよう、必ず係員を 1 階に 1 名配置する（受付時・客出し時も同様に行う）。
- グッズ販売は行わないこととする。
- 面会や差し入れを控えるよう各所にアナウンスする。
- 公演終了後は、翌日以降の準備終了後、速やかに退館して対面での初日乾杯や打ち上げ、観客との接触を控える。

<演出、稽古に関わる注意点（併せて「稽古場での注意事項」を参照）>

- 原則、舞台上以外の場面ではマスク着用を必須とし、待機中は各々可能な限り距離を取り密集を避ける。
- 準備体操・アップは舞台上のみで、限られた人数で密集を避けて行うこととする。
- 合唱・歌唱を行う、大きな声をだす、出演者と観客が接近する・交流する演出は、飛沫感染のリスクが高いことを考慮し控えることとする。
- 劇場の扉を開放するため、客入れ時の音楽は音量を制限する。
- 開場から観客が退館するまでの時間が 2 時間を越えるような場合は、途中場内の換気休憩（15 分程度）を必ず入れる。

以上

[参考資料]

東京都「新型コロナウイルス感染症を乗り越えるためのロードマップ」

https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/007/957/20200526.pdf

公益社団法人全国公立文化施設協会

「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染課題予防ガイドライン」

https://www.zenkoubun.jp/covid_19/files/0918covid_19.pdf

緊急事態舞台芸術ネットワーク

「舞台芸術公演における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」

http://jpasn.net/stage_guideline0918d.pdf

内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長

「11 月末までの催物の開催制限等について」

https://corona.go.jp/news/pdf/jimurenaku_20200911.pdf